



うきは市立山春小学校 学校通信

山 春



「やまるん」と「さくらん」

合言葉「みんなで すすんで チャレンジ」

第7号

令和7年8月25日発行

発行者 校長 石井 雄児

2学期がスタートしました

37日間の長い夏休みも終わり、学校には元気で明るい子ども達の声が戻ってきました。今年も猛暑日が続きましたが、子どもたちは、充実した夏休みを過ごせたでしょうか。子ども達が元気に登校でき、2学期の始業式を迎えられたことをうれしく思います。

今年の夏休みのプール開放は、時間を繰り上げて実施していただきました。保護者の皆様には、猛暑の中、プール開放・監視をしていただき、ありがとうございました。毎回20～30名の子ども達が参加していました。今後に向けて課題等ありましたら、地区委員会や理事会で話し合って進めてまいります。

さて、2学期は、運動会(10/25)や学習発表会・フルーツコンサート(11/22)などの大きな行事があり、友達と協力したり、一人一人の表現力を高めたりする場面がたくさんあります。子ども達一人一人が、目標をもち進んで取り組むことができるようにしていきたいと考えています。

防災教室(7月22日 5・6年)

日本赤十字社福岡県支部の方2名に来ていただき、防災教室を行いました。内容としては、防災学習、救急法、ハイゼックス(災害救援用炊飯袋)を使った非常食体験、災害救助車見学、新聞紙スリッパ作りなど、約3時間の学習をしっかりと行うことができました。災害が発災した時のために、日頃から備えておくこと、自分の命は自分で守ることの大切さを体験することができました。



平和学習(8月6日) ～平和への願いをこめて～

8時15分に黙とうを捧げ、体育館で平和集会を行いました。体育館では、全校児童の前で、6年生が修学旅行で学んだことを発表しました。長崎に原子爆弾が落とされ、一瞬にして多くの人が亡くなったこと、後遺症や差別で苦しんだ被爆者の方の話などについて、写真や見学した感想をまじえて発表しました。6年生は、「平和な世の中を続けていくためには、他人を思いやる心をもち、いじめや差別をなくしていくことが大切」というメッセージを伝えてくれました。

その後、低・中・高学年に分かれ、平和学習をしました。「しんちゃんのさんりんしゃ」(低学年)、「つるにのって」(中学年)、「戦争と核兵器」(高学年)の動画を見て、原子爆弾の悲惨さや戦争の恐ろしさ、平和や命の大切さについて考えました。これから平和な世の中にしていくために大切なことは何か、自分たちは何をすればよいのかということを考えていく学習を行うことができました。

太平洋戦争終結から80年。戦争を経験された方々は、少なくなっています。戦争の惨禍、平和の尊さを戦争の経験のない私たちも語り継いでいかなければなりません。世界では、未だに戦争や紛争が起きています。平和な日本に生まれた子ども達には、これから戦争のない平和な世の中をつかっていってほしいと願っています。



地区懇談会へのご参加ありがとうございました

7月25日の地区懇談会には、暑い中、保護者の皆様、地域の皆様においでいただき、ありがとうございました。今後とも、子ども達の健全な育成に向けて、家庭・地域・学校が連携して進めていけるように、ご支援ご協力をお願いいたします。